

青果物



岩手県 いわて中央農業協同組合 『りんごをタイ、ベトナムへ』

【主な品目】

りんご

【主な輸出先国・地域】

タイ、ベトナム

【輸出取組の概要】

- ◆ 平成21年よりタイへのりんご輸出を開始。
- ◆ りんごの輸出とあわせて地域の特産（長芋、切り餅、西洋なし）の輸出を実施。

【輸出実績】（平成21年度より輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
平成28年度	552	14.5	12～1月
平成27年度	271	7.4	
平成26年度	174	4.9	

【アップルパイ現地生産】

- ・平成26年度より、加工りんごを輸出して現地でアップルパイを生産販売。
- ・平成28年は400kgを輸出し、パイ約7,000個を販売。

【取り組む際に生じた課題】

- ・ 日本産りんごで産地間競争販売（タイ）。
- ・ 輸出・輸入双方の販売ルートが様々で、情報交換が不足（ベトナム）。
- ・ 出荷ロットがコンテナ単位にならずコスト高（全般）。

【生じた課題への対応】

- ・ りんご輸出消費を高級小ロットから、中級量販体制へ輸出品質、価格を見直し。
- ・ JAが直接商談に出向き、輸入販売側の意向を取り入れた提案を実施。
- ・ りんごを軸に、他品目販売提案（切り餅等）、またロット拡大を目的にアップルパイを現地製造販売、原料輸出による出荷ロットの拡大。

【対応の結果】

- ・ りんご品質グレードを中級に見直し、価格を40%値下げして数量は一気に2倍強。
- ・ 輸入販売側の意向（旧正月販売）に合わせて鮮度保持対応を実施し、販売期間、品種、数量を拡大。
- ・ アップルパイ併売で売場スペースを拡大でき、売上げに相乗効果が発生。物流もコンテナ空スペースに加工用原料りんご積載により効率性を高めた。

【今後の課題・展望】

- ・ 単一品目、JAにこだわらず県内輸出者と連携し総合品目提案による県単位での輸出促進（定期輸出コンテナ確保を目標）。
- ・ 徹底したマーケティングを行い、輸出新品目模索と生産体制確保を実施。（例・サツマイモを輸出向けに新規栽培開始）



タイでの販売促進活動



ベトナムでの商談会

【活用した支援・施策】「いわて農林水産物輸出促進協議会」の構成団体としての取組

【ウェブサイト】 <http://ja-iwatechuoh.or.jp/>

【連絡先】 担当者名：営農販売部販売対策課（横澤）、TEL：019-676-3338